



少年部入会者向けの案内より

平成 25 年 3 月現在

皆野民俗芸能奏楽研修会 少年部 プロフィール Profile

皆野に古くから伝わる獅子舞、神楽、各種祭り囃子など、100曲あまりの奏楽を守り、将来へ伝える活動をしている皆野民俗芸能奏楽研修会。少年部は、その後継者育成の一貫として、故・関根幸一により昭和51年より郷土芸能講習が始められました。

*

小学校の郷土芸能講習で、3年間の講習を修了した子供たちは、卒業前に2楽器3曲以上を必修基準とする検定を受け、皆野の郷土芸能正当後継者として認定証を受けます。

*

中学生になると、皆野民俗芸能奏楽研修会少年部としてさらに技術を磨き、レパートリーを増やし、貴重な伝統芸能の後継者としての一步を踏み出します。部活動や勉強の合間に、さまざまな皆野の伝統曲を練習し、秩父音頭祭りはもちろん、神社の祭で神楽や獅子舞に活躍するメンバーもいます。

*

少年部の年間行事としては、

春、5月3日に美の山で行われる
蓑山神社八十八夜祭への奉仕と研修会大会。
夏の秩父音頭祭り前夜祭での演奏。
秋の皆中体育祭での演奏、皆野町文化祭芸能の部での発表、
などが定期的な行事となっています。



毎年5月3日日の山八十八夜祭

*

少年部の活動は広く町内外からも注目されています。



そのほかの活動実績としては、埼玉県からの出演要請なども多数ありますが、また1期生以来、日独友好にもその一端を担い、全国的なスポーツ少年団歓迎式典などの交流の場での、度重なる出演経験があります。

(→次ページへ)

*

初の海外遠征は昭和 60 年（'85）の旧西ドイツ。ビュアシュタット市で開催された世界体操祭に出演し、世界の人々の前でお囃子の数々を演奏。この時、子供たちは初のホームステイも体験しました。

埼玉県の代表として、昭和 63 年には兵庫県神戸市のポートアイランドで開催された第 3 回国民文化祭“ひょうご 88”に参加。次回開催地の埼玉県の代表として、大会旗を預かって凱旋し、県庁・畑知事へ報告しての演奏もありました。

*

平成に入っては、平成 9 年第 35 回全国スポーツ少年大会の開会式で、秋篠宮様ご夫妻の見守られる中、1 時間に渡るアトラクションを披露。両殿下に秩父音頭の演奏に加わっていただくなど、大会を盛り上げました。

また、平成 11 年にはサッカーワールドカップ共同開催決定を期に始まった“日韓青少年スポーツ交流”歓迎レセプションでの演奏で、韓国のみなさんとの交流。などなど、皆野の伝統曲を守る少年部の活動は、町外にも広がっています。

平成 16 年 7 月には、再び、ドイツ世界体操祭へ。世界体操祭の開会式での開幕演奏も務め、また友好都市であるビュアシュタット市との 20 周年記念式典などでも演奏。

平成 17 年秋には、秩父郡市人権フェスティバルのオープニングを担当し、秩父音頭や屋台囃子のほか、さまざまな皆野の伝統曲を演奏。平成 18 年、19 年の 2 年にわたり、東京オペラシティ（新宿・初台）のイベント「アーツ・シャワー」に参加、お囃子の演奏のみならず、一般のお客さまに向けての太鼓の体験講座も行い好評を博しました。

*

平成 20 年夏、少年部は上田埼玉県知事の“とことん訪問”を受けました。また 20 年と 21 年夏の 2 度にわたり、埼玉スタジアムで国際ジュニアサッカー大会（U12）の決勝戦のアトラクションとして、埼玉を代表して 30 分間のお囃子演奏。

平成 22 年秋の埼玉芸術文化祭 民俗芸能まつり（皆野町開催）や、23 年秋の埼玉県 PTA 研究大会で、皆野の伝統芸能の奏楽の数々を演奏したことも記憶に新しいところです。



平成 22 年 埼玉県芸術文化祭 民俗芸能祭り



平成 21 年 埼玉スタジアム 国際ジュニアサッカー大会

皆野民俗芸能奏楽研修会

少年部